

大阪歴史博物館では、来館者全体のうち4人に1人以上が小中学校の生徒達です。

そこで、子供達にも大阪の歴史と文化財に親んでもらい、学校教育にも活用して頂けるよう、次のような事業を展開してきました。

(1) 常設展示

8階の「歴史を掘る なにわ考古研究所」では、遺跡の発掘現場を実物大で復元し、それを題材とした4種類のワークシート、考古学のパズルやコンピュータによるクイズなどを用意して、小中学生でも楽しめるように展示しています。

また、10・9・7階では、6種類の「ハンズオン」を日替わりで(2種類/1日)、古代から近代のハンコをクイズに答えて集める「スタンプラリー」を連日行っています。

また、博物館の地下に保存している古代の宮殿遺跡「難波宮跡」で見つかった建物跡(飛鳥時代)や古墳時代の大型倉庫(実物大復元)を、学芸員やボランティアが解説付きで毎日案内しています。

(2) 印刷物

小学生向けに、展示案内を中心とした『巡って、感じて、考えよう わたしたちの大阪歴史博物館』を刊行、販売(300円)しています。巻末付録には考古学の地層パズルがついています。

大阪市小学校教育研究会社会部と共同で編集・執筆しました。

(3) 学習情報センター「なにわ歴史塾」

無料の学習情報センターでは、歴史や文化財に関する小中学生向けの学習図書も用意しています。学芸員が夏休みなどの学習相談にも対応します。

(4) 体験発掘

大阪市内の小学校を対象に、飛鳥・奈良時代の宮殿遺跡である国指定史跡「難波宮跡」で、体験発掘を実施しています。参加可能な枠が限られてしまいますが、半日かけて発掘調査を体験してもらうほか、見つかった土器を洗ったり、展示室を見学してもらったりしています。

小学生向けの遺跡発掘調査マニュアル「考古学を知ってもらうために」も配布しています。

(5) 体験講座

「わくわく子供教室」(文部科学省による「全国博物館における地域子ども教室推進事業」の一環)と題して、年間を通じて小中学生向けの体験教室を各種実施するほか、夏休みの体験学習講座、企画展にあわせた小中学生向けワークショップ(不定期)などを実施しています。内容は年によって異なります。